

報道関係者各位

2026年4月9日
野村不動産株式会社
株式会社タオ・エンターテイメント
野村不動産コマース株式会社

『DRUM TAO THEATER KYOTO』 本日 2026年4月9日(木) 開業
～京都の夜に、新たな鼓動を。伝統と革新を“つなぐ”エンターテインメント拠点、誕生～

本プレスリリースのポイント

1. 『DRUM TAO THEATER KYOTO』が、本日開業。記念すべき初回公演の事前販売チケットは完売
2. 京都の夜をより豊かに彩る、日本が誇る和太鼓エンターテインメントの没入体験を提供
3. ラウンジ、ルーフトップ、ギフトショップを併設し、劇場体験を通して、京都の夜を最大限楽しめる場を提供



メディア内覧会でのフォトセッションの様子
(左から、タオ・エンターテイメント 藤高郁夫、コシノジュンコ氏、野村不動産コマース 鶴沼孝之)



本劇場での DRUM TAO のパフォーマンス

NRE&TAO エンターテイメントパートナーズ合同会社（野村不動産株式会社〔本社：東京都港区／代表取締役社長：松尾大作、以下「野村不動産」〕と株式会社タオ・エンターテイメント〔本社：福岡県福岡市／代表取締役社長：藤高郁夫、以下「タオ・エンターテイメント」〕がエンターテインメント事業に取り組むために設立）は、和太鼓パフォーマンス集団 DRUM TAO（以下「DRUM TAO」）の専用劇場『DRUM TAO THEATER KYOTO』（以下「本劇場」）を、2026年4月9日（木）に開業いたします。本事業は、野村不動産から業務委託を受け、野村不動産コマース株式会社（本社：東京都港区／代表取締役社長：鶴沼孝之、以下「野村不動産コマース」）が推進しており、また、NRE&TAO エンターテイメントパートナーズ合同会社は、包括的業務提携を結んでいる株式会社 JTB コミュニケーションデザイン（本社：東京都港区／代表取締役：藤原卓行）と連携しながら、本劇場の開業および運営に取り組んでまいります。

1. 本日、『DRUM TAO THEATER KYOTO』が開業。

世界 31 カ国・500 都市での公演実績を持ち、累計観客動員数 1,000 万人を超える和太鼓エンターテインメント集団・DRUM TAO の新たな常設拠点として、『DRUM TAO THEATER KYOTO』が、本日 2026年4月9日(木)に開業いたします。なお、記念すべき初回公演「響-HIBIKI-」は、事前販売分のチケットが完売での幕開けとなります。

本劇場は、DRUM TAO のパフォーマンスを高い没入感で体験できる専用劇場であると同時に、鑑賞前後の滞在そのものをエンターテインメントとして、楽しめるよう設計いたしました。地元の職人やアーティストとの協働により、日本の伝統を取り入れた

空間装飾も施し、京都の夜を彩る文化拠点としても展開。観光や仕事で過ごした一日の締めくくりとして、ナイトタイムにふさわしいエンターテインメント体験をご提供いたします。

特に京都では、多くの寺院や文化施設が夕方頃に閉館する一方で、夜間に楽しめる観光コンテンツが不足していることから、特定エリアに観光客が集中するなど、オーバーツーリズムの課題が指摘されています。こうした中、京都駅八条口側に夜間でも訪れることができる新たなエンターテインメント拠点が誕生することで、観光客の分散にも寄与することが期待されます。

また、DRUM TAO が世界中を熱狂させてきた理由は、言語を介さず身体の奥底に直接響く圧倒的なビートと、唯一無二のノンバーバルエンターテインメントにあります。そのパフォーマンスは、文化や国境といったあらゆる障壁を越え、世界中の人々の興奮と感動を届けてきました。だからこそ、本劇場では、世界中の人々が集う文化の交差点・京都において、言語や文化を越えたエンターテインメントを通じて、人と人の心の距離を近づける体験を創出してまいります。

2. 京都の夜をより豊かに彩る、日本が誇る和太鼓エンターテインメントの没入体験を提供

本劇場は、DRUM TAO による興奮と感動を、より没入感のあるかたちで体験いただくため、僅か 300 席規模の専用劇場として設計されました。観客からステージまでの距離を極限まで近づけ、音と熱気を最大限に感じることができる、和太鼓のために生み出された空間です。和太鼓の音圧から出演者の息づかいまでを間近で体感でき、臨場感あふれる世界基準の没入体験を実現しています。



本劇場での DRUM TAO のパフォーマンス

さらに、本劇場には、バーカウンターを設け、厳選されたドリンクやフードを楽しめる「LOUNGE」や、自然を感じながら京都の街並みを一望することもできる開放感あふれる「SKY TERRACE」、本劇場オリジナルグッズが購入できる「GIFT SHOP」を併設し、劇場体験を通して、京都の夜を最大限楽しめる場を用意しています。



BAR / LOUNGE



SKY TERRACE

加えて、空間演出においても、日本らしさと DRUM TAO の世界観を体感いただけるよう、随所に工夫を施しています。入口には、劇場の象徴となる巨大提灯と巨大暖簾を設置。提灯は江戸時代より続く「小嶋商店」と、世界最大級の大きさを誇る暖簾は大正創業の老舗「のれん中むら」と共同制作いたしました。そこに描かれる紋は、伝統技法と現代技術を融合した「京源」紋章上絵師である波戸場承龍氏、波戸場耀鳳氏によるオリジナル作品です。来場者が足を踏み入れた瞬間から、日本の伝統文化と非日常を体感できる空間を創出しています。これにより、本劇場は DRUM TAO の公演を単に「鑑賞する」場にとどまらず、京都の夜を過ごす一つの文化体験として楽しめる点も大きな価値となっています。



GIFT SHOP



巨大提灯と巨大暖簾

3. 開業にあたり関係者のコメント

■ 京都府知事／西脇隆俊様

この度は、DRUM TAO THEATER KYOTO の開業を迎えられましたことを心からお祝い申し上げますとともに、御尽力されました関係の皆様へ深く敬意を表します。

国内屈指のナンバーワンエンターテインメントである DRUM TAO の常設劇場が、文化や技術を生かし、伝統を守りながら革新を続けてきたここ京都の地に誕生することを大変意義深く感じております。

DRUM TAO が創り出す躍動感あふれる舞台を通じて、京都の夜観光の魅力がより一層高まることを期待しております。

■ 京都市長／松井孝治様

和太鼓パフォーマンス集団「DRUM TAO」唯一の屋内専用劇場が京都に誕生することを心から嬉しく思います。磨き上げられた日本伝統の技と心意気、そして革新的な舞台で、世界の人々の魂を震わせてきた和太鼓の音色が、京都の夜を大いに沸かせてくれることでしょう。

また、京都の新たなアートスポットとして注目が高まっている京都駅周辺エリアに新たな人の流れを創出し、文化の創造・発信拠点として京都のまちの活力となることを期待しています。

京都市といたしましても、引き続き市民の皆様をはじめ多くの方々が、京都に息づく豊かな知恵や学藝に触れる機会を創出し、「夢中」と「感動」が溢れるまちづくりを進めてまいります。変わらぬ御支援と御協力をお願いいたします。

■ 衣装デザイン／コシノジュンコ氏

15 年前、TAO の公演を初めて見た時 和太鼓のイメージが吹き飛んだ。

伝統芸能が現代的なエンターテインメントに昇華されて パワーのある生き生きとした見応えのある舞台だった。

私は衣装のアイデアが湧いてすぐに TAO の衣装を引き受けた。

衣装によって世界が望む日本の伝統と革新が融合した 今までにない DRUM TAO になると信じた。

世界の人々が集まる京都で 是非 お楽しみください。

■ 劇場支配人・野村不動産コマース 代表取締役社長／鶴沼孝之

本劇場は、世界 31 カ国で延べ 1,000 万人以上を魅了してきた DRUM TAO 唯一の屋内常設専用劇場です。長きにわたり文化と芸術を育んできた京都で、圧倒的な和太鼓の響きと幻想的な舞台芸術、日本文化の革新をお届けできることを光栄に思います。

約 300 席の超・至近距離シアターならではの臨場感の中、アーティストの息づかいや太鼓の振動までも全身で感じていただけます。また、館内にはオリジナルドリンクを楽しめるバーや、京都の夜をゆったり過ごせるルーフトップも備え、夜の過ごし方に新たな選択肢をご提案します。京都のナイトエンターテインメントをさらに盛り上げ、皆さまに特別な時間をお届けいたします。

■タオ・エンターテインメント 代表取締役／藤高郁夫

日本文化の象徴的な都市「京都」に専用常設劇場ができることは、日本の伝統文化を世界へ発信する拠点になると思います。文化芸術に興味を持つ良質な訪日外国人の夜の観光のコンテンツとして「最新の日本エンターテインメント」を体験して欲しいと願っています。

19 時の部は「響」と題して家族が楽しめるような「祭り」のような作品で、実際に太鼓が叩ける体験コーナーもあります。全身で太鼓の心地良い振動を堪能していただけます。また、21 時の部は「夢」と題したロマンを感じる感動的な作品で、太鼓だけでなく、篠笛・箏・三味線などを超絶パフォーマンスで表現した他に類のない作品です。

日本を代表する劇場と言われるように我武者羅に頑張りたい。

4. 施設概要

所在地	京都府京都市南区東九条西山王町 3 1 アバンティビル 9 階
交通	地下鉄京都駅より徒歩 1 分 / 近鉄京都駅より徒歩 3 分 / JR 京都駅八条口よりすぐ
フロア面積	1,395.58 m ² (予定)
座席数	最大 325 席 ※可動式座席のため、変動する可能性があります。
劇場運営	株式会社 J T B コミュニケーションデザイン
協賛パートナー	株式会社ジェーシービー、ヤマト運輸株式会社
公式サイト	https://drum-tao-kyoto.com
周辺図	

■DRUM TAO とは

世界 31 カ国、500 都市、観客動員数 1000 万人！※1 国内屈指のノンバーバル（非言語系）エンターテインメント。和太鼓を中心に圧倒的なパフォーマンスと数々の和楽器を奏で唯一無二の舞台芸術を繰り広げる。2016 年 NY オフ・ブロードウェイ進出し全公演 SOLD OUT。「DRUM TAO は世界へ日本を売込む『顔』になる」と絶賛される。

※1：DRUM TAO 調べ

DRUM TAO 公式 HP：<https://www.drum-tao.com/about-tao>



■『DRUM TAO THEATER KYOTO』とは

野村不動産が、JR 京都駅八条口よりすぐの施設アバンティビル内のホールを取得。常設劇場として、演出設計とロングラン公演により、京都を訪れる方々が「DRUM TAO」の世界観に没入できる環境を整えております。本劇場を通じて、日本を代表する新しいエンターテインメントを国内外に発信し、京都の夜観光の魅力向上と地域活性化に貢献してまいります。

※掲載している画像は現状の想定であり、今後変更になる場合があります。